

令和5年度

# 手稲高校男子バドミントン部

## 4部からの挑戦！！

### 育成の手稲 新人戦全道大会出場！

皆さんは、手稲高校の男子バドミントン部は弱いと思っていませんか？

そう、その通り去年まではいわゆる弱小チームでした。これと言って中学校時代に全道大会に出場したスター選手がいるわけでもなく、平凡な公立高校のバドミントン選手だけのチーム…。教えてくれる先生がいなく、無法地帯のチームでした。僕らはこの状況に納得がいかず、変わらない日常と奥に眠るバドミントンへのやる気と葛藤していました。

ところが…。今年転勤して来た先生と、僕たちのやる気とポテンシャルがとんでもない化学反応を起こしました。練習の仕方を一新し、基本から全部やり直すことにしました。時間はかかりましたが、半年間で春4部だったチームが秋の新人戦で全道大会に出場する事ができました。これは、札幌のバドミントン競技においてあり得ない程の快挙だそうです。これまでの努力が報われたと思い、今も震えが止まりません。

もちろん、僕たちの挑戦はまだ、終わっていません。この後、新人戦の全道大会。そして、来年度の高体連。まだまだ、僕たちの挑戦は続きます。でも、今回の全道大会出場は、僕たちだけでなく、札幌市内の全ての高校に夢を与えることができたと思っています。

「春4部のチームが、半年間の練習で全道大会に出場することができたのだから…。」

まだまだ、僕たちの挑戦は終わっていません。僕たちにもできたのだから、君たちにもできるはずです。

来年僕たちと一緒にこの物語を完結させてみませんか？札幌中の高校があっと驚くような結末を！！

「一緒に完結させよう!!君たちの入部を待っています!!」



## ・チーム形成

	顧問 藤丸 靖規 先生	副顧問 綿井 博一 先生		
2年	◎ 木南 斗亜	○ 西 雄吉	熊田 涼太	能代 權士
	松田 大耀	山本 夏南男	横山 涼晟	
1年	浅野 遥貴	川崎 椋太	高橋 知揮	中山 陽祐
	秦 日々輝	MG 三島 歩奈	MG 吉江 咲藍	

## ・新チームの活動内容

僕たちの新チームになってからの活動は、火水木の平日は2面で2時間半。土日は3面で2時間。

とにかくコートに入れる時間が少ないのでオフコートの練習の時にランニングや筋トレで基礎体力をつけ、オンコートの練習ではノックで基本的な技術の理解と習得を目指しました。ノックは基本的な練習が中心でしたが、スピードとコントロールは札幌の高校で通用するレベルを目指していたので、簡単ではありませんでした。

基本的に1週間ごとにレベルアップしていく予定でしたが、なかなかコントロールが身につかず、予定のメニューをこなすことができなかつたので各自朝練で補いました。はじめの頃はノック練習ばかりだったので、基礎打ちは大会1週間前までできませんでした。

フットワーク練習は職員駐車場にポスターカラーでバドミントンコートを作り、春休みの雪解けとともに外で練習し始め、今年の真夏の猛暑の中でもやり続けました。正直暑くて死ぬかと思いました。

8月末までは、ほとんど基本練習ばかりでしたが9月以降のゲーム練習でラリーがつながるようになりゲーム練習が徐々に面白くなってきました。ゲーム練習をするとコートに入れない時間帯が多くなるので、その時間帯を利用して、エア縄跳びやラケットカバーをつけての素振りやフィジカル面を鍛えました。

夏休み以降の土日は学校でのオンコートの練習時間が短いので、週に1回は練習試合に出かけ校外で練習をしました。練習試合の後は、締めめのロードワークでフィットネスを鍛えました。ファイナルゲームになってもスタミナなら他校に負ける気がしませんでした。

チーム内のランキング戦も勝ったり負けたりを繰り返し、誰が本当のエースなのかわからない位チーム内の競争が激しくなりました。体調を崩して、練習を休むと途端に追い抜かれるので体調管理もかなり気を遣いました。テスト期間以外は毎日朝練を欠かしませんでしたし、参考になるバドミントンの動画は全員で共有してプレーに取り入れました。

こうして迎えた秋季大会、夏休み前の自分たちと今の自分たちでは明らかに別人のプレーになっていることを、自分たちが一番分かっていました。試合で結果を出すのが楽しみでした。

## ・新入生歓迎会



## ・ 試合結果 !

### ★2023年度 札幌地区春季高校バドミントン大会【4月】

【ダブルス】 後藤③・田名田③ 三回戦敗退  
西②・熊田② 三回戦敗退  
山本③・木南② 二回戦敗退

【シングルス】 後藤③ 一回戦敗退  
田名田③ 二回戦敗退

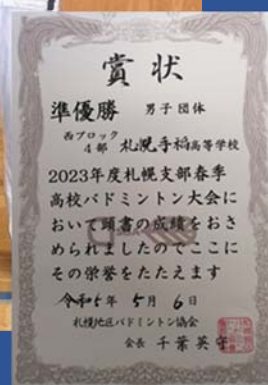
【団体戦】西地区4部 B ブロック 8校中 **2位** (3部昇格)

札幌創成に3-2で勝ち  
啓北商業に3-1で勝ち  
札幌藻岩に3-2で勝ち  
札幌工業に0-3で敗退

#### 選手からコメント

(3部に昇格できたのはいいが、  
団体が勝っていたのは全て3年  
生。3年生がいなくなっからの  
戦力ダウンを考えると落ち込ま  
ずにはられない。新チームで  
勝てるのだろうか?)

	札幌手稲	札幌藻岩	啓北商業	札幌創成
札幌手稲		○ 3-2	○ 3-1	○ 3-2
札幌藻岩	× 2-3		○ 3-1	○ 3-1
啓北商業	× 1-3	× 1-3		× 1-3
札幌創成	× 2-3	× 1-3	○ 3-1	



★第75回札幌支部高等学校バドミントン選手権大会【5月】

【ダブルス】 山本③・熊田② 三回戦敗退  
後藤③・田名田③ 二回戦敗退

【シングルス】 田名田③ 二回戦敗退  
後藤③ 三回戦敗退

【団体戦】 一回戦敗退

★2023年度 北海道バドミントン選手権大会札幌地区予選会【7月】

【ダブルス】 西②・木南② 一回戦敗退  
山本②・能代② 一回戦敗退  
奈良木②・川崎① 一回戦敗退  
熊田②・秦① 二回戦敗退

【シングルス】 西② 二回戦敗退  
能代② 一回戦敗退  
木南② 三回戦敗退  
熊田② 三回戦敗退  
川崎① 二回戦敗退  
秦① 三回戦敗退

選手からコメント(新チームになって最初の大会。自分たちがまだまだ未熟すぎて競り合うこともなく敗退、悔しいとか惜しいとかそんな感情は湧き起こらなかった。)

## 8月夏季合宿(トマムにて)



選手からのコメント(7校合同で100人を超える合同合宿。ついでに行けたのはフィジカル面だけで技術的には、まだまだ課題が多いことが分かった。)

★2023年度 会長杯【9月】

【ダブルス】 木南②・川崎① 二回戦敗退  
熊田②・秦① 二回戦敗退

【シングルス】 熊田② 一回戦敗退  
川崎① 二回戦敗退

選手からのコメント

(公式戦で初の勝ち星も取れて、練習へのモチベーションも上がった大会だった。高校ごとのレベルの高さを知れたいい大会だった。)

(各校の上位選手が出場した大会だったので、とにかく声を出して自分のモチベーションを上げて試合に臨んだ。)

★2023年度 1年生大会【10月】

【ダブルス】 秦①・川崎① 四回戦敗退

【シングルス】 浅野① 一回戦敗退  
 中山① 一回戦敗退  
 川崎① 四回戦敗退  
 秦① 四回戦敗退

選手からのコメント

(試合中メンタルにむらができ、二回戦敗退という悔しい結果となってしまったが、今までの練習やみんなの応援のおかげで一回戦は勝つことができたので個人としてもチームとしても成長を感じる事ができた。)

(手稲高校のバドミントン部に入部して、厳しい練習の中で実力の向上を実感した。これからも手稲の実力は伸びていくと思う。)

★令和5年度 札幌地区秋季高校バドミントン大会・団体戦【11月】

西地区男子3部 5勝0敗で1位 決勝トーナメント進出 (2部昇格)

札幌開成に3-2で勝ち  
 石狩翔陽に3-2で勝ち  
 東海大に3-1で勝ち  
 札幌工業に3-0で勝ち  
 札幌新川に3-1で勝ち

選手からのコメント

(僕は出場しなかった、応援を通して試合の緊張感を感じた。ドキドキな展開だったが、なんとか一位通過することができてよかった。)

	札幌開成	東海大札幌	札幌新川	石狩翔陽	札幌工業	札幌手稲
札幌開成		X 1-3	X 1-3	O 3-2	O 3-0	X 2-3
東海大札幌	O 3-1		X 1-3	O 3-1	O 3-1	X 1-3
札幌新川	O 3-1	O 3-1		O 3-1	O 3-1	X 1-3
石狩翔陽	X 2-3	X 1-3	X 1-3		X 1-3	X 2-3
札幌工業	X 0-3	X 1-3	X 1-3	O 3-1		X 0-3
札幌手稲	O 3-2	O 3-1	O 3-1	O 3-2	O 3-0	



賞状  
 優勝 男子団体  
 第3部 札幌手稲高等学校  
 2023年度札幌支部秋季  
 高校バドミントン大会に  
 おいで頂きの結果をおさ  
 められましたのでここに  
 その栄誉をたたえます  
 令和5年11月12日  
 札幌地区バドミントン協会  
 会長 千葉英幸

★令和5年度 札幌地区秋季高校バドミントン大会・個人戦（2部大会）【11月】

【ダブルス】 松田②・浅野① 一回戦敗退  
 中山①・横山② 二回戦敗退  
 能代②・山本② 二回戦敗退  
 西②・高橋① 三回戦敗退  
 木南②・熊田② 四回戦敗退

【シングルス】 松田② 二回戦敗退  
 横山② 二回戦敗退  
 山本② 二回戦敗退  
 西② 二回戦敗退  
 能代② 四回戦敗退  
 熊田② 四回戦敗退  
 木南② 七回戦敗退 ※ベスト8

選手からのコメント

（私は2部大会に出場して、結果はシングルス、ダブルスともに二回戦敗退というものだった。しかし、今後の自分への課題を見つけ、応援を通じて仲間との一体感を感じることができ、とてもいい経験になった。）

（2部大会のダブルスでは自分たちの納得いかないプレーのまま負けてしまい悔しかった。シングルスも、二回戦で優勝した人に負けて、たくさんの課題が見つかって収穫のある大会だった。）

★令和5年度 札幌地区秋季高校バドミントン大会・（団体戦）決勝トーナメント【12月】

3位決定トーナメント

二回戦 恵庭南高校に3-2で勝ち

三回戦 札幌北斗高校に0-3で負け

7位決定トーナメント

一回戦 科学大高校に1-3で負け

9位決定トーナメント

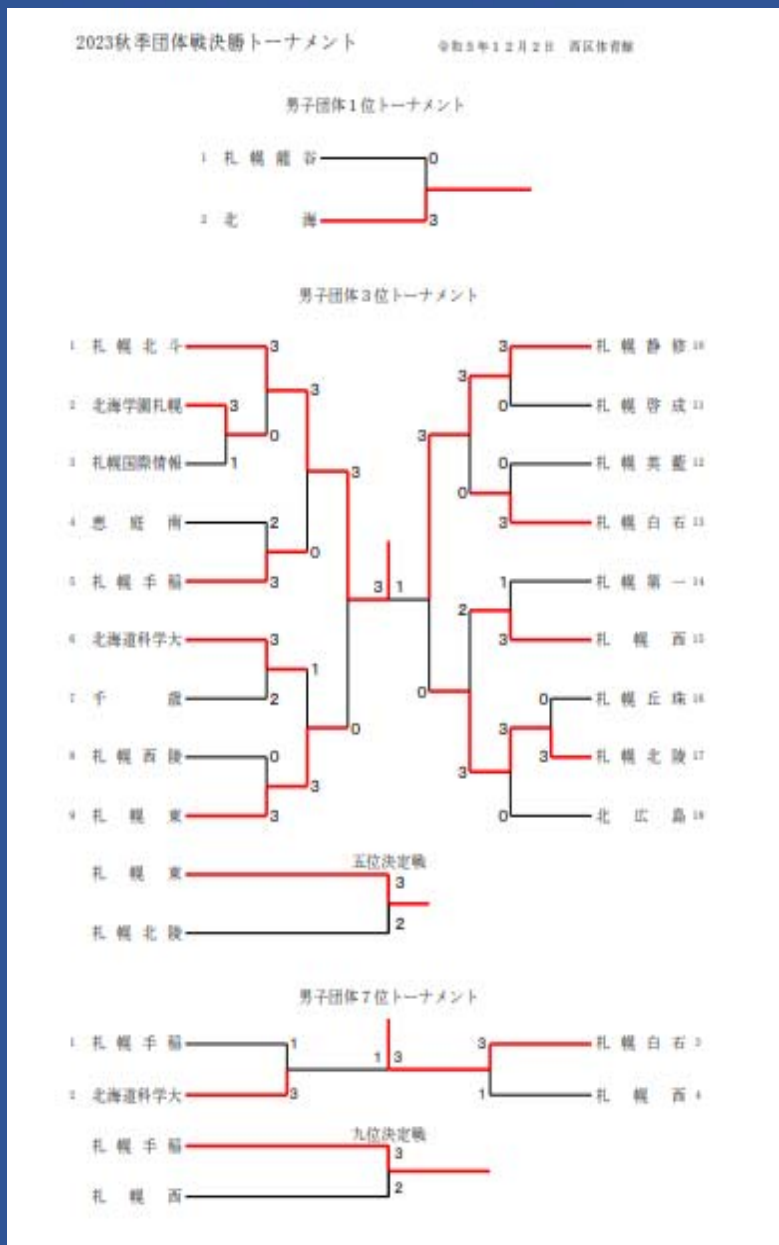
札幌西高校に3-2で勝ち

※9位入賞 全道大会出場

選手からのコメント

（重要な一戦だったが仲間も一緒に戦っているとと思いながら試合に臨んだことで、普段の練習通りのプレーをすることができた。なんとかチームに貢献することができ、チームとしても勝利を収めることができた。全員で掴んだ全道の切符だから、出場することだけに満足せず、更なる勝利を目指して今後の練習に挑みたい。）

（今までチームを引っ張ってきた木南がいない試合で負けるわけにはいかなかった。何が何でもこの試合に勝って、木南を全道大会に出場させたかった。）





## 選手たちを支えた優秀なマネージャーたち



※彼女たちのサポート無しでは全道大会出場は成し得なかった。

## ・今後の大会

- ★1月 第56回北海道高等学校新人バドミントン大会
- ★4月 春季大会
- ★5月 高体連

## ・目標

新人戦の全道大会でベスト8

春のリーグ戦で1位通過(1部昇格)

高体連の札幌地区予選で6位以内入賞し、全道大会へ出場

高体連の全道大会でベスト8

## ・卒業生の主な進路

北海道大学 小樽商業大 帯広畜産大学 同志社大学 電気通信大学 愛知教育大学

弘前大学 千歳科学技術大学 北海道教育大学 北海道科学大学 北海道医療大学

北海学園大学 近畿大学

**来年是非来てください!**

